

報道関係者各位

2026 年 10 月 15 日

丸文株式会社

丸文、会話の割り込みができる音声対話アプリケーション「ケビートーク」の提供を開始 ～ロボット特有の“応答待ち”を解消。自然な対話を実現し、多様な現場へ展開～

エレクトロニクス商社の丸文株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：堀越裕史、本社：東京都中央区、以下、丸文）は、株式会社フレンドリーテック（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役：角田秀人、以下、フレンドリーテック社）が開発した、AI コミュニケーションロボット Kebbi（ケビー）向けの音声対話アプリケーション、ケビートークの提供を開始したことをお知らせいたします。

【開発の背景】

人手不足の解消やコミュニケーションの促進に向けて、介護や教育、接客、観光案内など様々な現場で、会話型ロボットの活用が期待されています。しかし、従来のロボット対話では「応答までの時間が長い」「ロボットの発話中に割り込んで話せない」といった対話上の課題がありました。そこで、Kebbi の豊かな表情や動作を活かしながら、自然な対話機能と現場での使いやすさを両立したケビートークをリリースしました。ユーザーの専門知識は不要で、Web ブラウザ上から直感的にプロンプトや設定を変更できるためより柔軟なカスタマイズが可能となり、現場でも定着しやすい機能となっています。

【ケビートークの特長と主な機能】

ケビートークは、Kebbi 本体に搭載して使用する専用の対話ソリューションです。管理者は PC やタブレットのブラウザ画面から、ロボットの役割（プロンプト）、声質、会話速度、参照データ（RAG^{※1}）などを簡単に設定できます。

機能・特長	概要・導入効果
割り込み対応・高速レスポンス	ロボットの発話中であっても利用者が言葉を挟める「割り込み対応」を実現。レスポンスも素早く、ストレスのないスムーズな対話体験を提供します。
ブラウザからの簡単設定・RAG 対応	PC・スマートフォン・タブレットのブラウザからノーコードで設定可能。RAG との連携により、施設案内や社内マニュアルなどの登録資料に基づく正確な回答を実現します。
柔軟な多言語サポート	英語をはじめとする多言語の聞き取り・発話に対応。インバウンド対応や外国籍スタッフ向けの日本語学習プログラムなどに幅広く活用できます。
表情・ジェスチャー連動	会話内容に合わせて Kebbi の表情や動作がダイナミックに変化。ロボットならではの安心感と親しみやすさを演出します。
高度なセキュリティ・専用サーバー対応	企業のセキュリティ要件に合わせ、専用サーバーやプライベート環境での構築・運用にも対応可能 ^{※2} 。機密情報を扱う現場でも安心して運用できます。
対話記録の活用	対話音声を録音・保存可能で、対応の品質改善やスタッフのスキルアップに活かせます。また、やり取り内容を透明化することでコンプライアンスの強化にもつながります。

※1：Retrieval-Augmented Generation（検索拡張生成）。生成 AI が回答を作成する際、社内マニュアルや自社のデータベース等の情報を参照・検索して回答を生成する技術のこと。

※2：専用サーバー構築等は別途個別開発が必要です。

【主な活用シーン】

ケビートークは、管理画面からの設定変更や環境構築により多様な役割に対応できるため、幅広い業界・機関で活用いただけます。

対象分野	主な活用イメージ
介護・福祉	利用者との傾聴・対話、思い出話の相手、見守り支援。
教育・発達支援・研究機関	子ども向け英会話や外国人向け日本語学習、発達支援・個別支援領域における対話補助やソーシャルスキルトレーニング。大学・研究機関における AI 対話やロボティクスに関する研究・実証実験プラットフォームとして活用。
商業・観光・オフィス・行政	店舗での商品説明、自治体窓口や観光地での多言語案内。セキュリティ要件が厳しい企業内での受付案内や社内 FAQ 対応。

【今後の取り組み】

丸文は今後もフレンドリーテック社とのパートナーシップのもと、RAG 機能における文字数上限の拡大や参照資料の拡充、対話音声の文字起こし・要約、対話記録から利用者のニーズや傾向を整理する AI 分析支援など、ケビートークの機能拡張を進めてまいります。さらに、会話の中から注意が必要な兆候をとらえて担当者や支援者に通知をする機能などの開発を進め、日本のあらゆる現場に最適化された AI ロボットソリューションを提供してまいります。

【両社コメント】

●株式会社フレンドリーテック 代表取締役 角田秀人様

人がロボットに合わせるのではなく、ロボットが人の会話のテンポに合わせる。その発想で、当社が磨いてきた音声 AI 技術を、丸文様とのパートナーシップのもと、思わず話しかけたいくなる Kebbi に搭載できました。AI と Kebbi の魅力が合わさってこそ生まれる自然な会話体験を、介護・教育・接客など人と向き合うあらゆる現場へお届けしてまいります。

●丸文株式会社 ディオネカンパニー長 樋口智昭

人と対話しているかのような自然な体験と、AI と愛嬌のある Kebbi を活用した将来性のあるソリューションです。今後は特に発達支援分野でのソーシャルスキルトレーニングや、会話を通じた子どもたちのリスク検知などへの活用にも期待しております。今後も日本の多様な現場に合わせた最適化を進めてまいります。

【AI コミュニケーションロボット Kebbi について】

当社は 2024 年 3 月に、台湾の NUWA Robotics Corp.と資本提携を行い、NUWA ロボティクス JAPAN 株式会社と販売代理店契約を締結しました。以来、同社の AI コミュニケーションロボット Kebbi と関連ツールの取り扱いを開始し、介護・医療市場向けに独占的に販売※3しております。 ※3：一部例外もあり

●Kebbi の詳細はこちら：<https://www.marubun.co.jp/products/42715/>

<株式会社フレンドリーテックについて>



会 社 名 : 株式会社フレンドリーテック
本 社 : 〒330-9501 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 2 丁目 3 番地 大宮マルイ 7 階
設 立 : 2020 年
代 表 者 : 角田秀人
事業内容 : AI 研修、AI おまかせデスク、音声対話型 AI「Friendly Agent」、発話練習アプリ「E-TONE」、JDU 関連事業支援、音声対話・コミュニケーション技術に関する企画および開発
U R L : <https://www.friendlytech.jp/>

<丸文株式会社について>

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1
設 立 : 1947 年
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 (CEO) 堀越裕史
従 業 員 : 1,193 名 (連結 : 2026 年 3 月 31 日現在)
資 本 金 : 62 億 1,450 万円
売 上 高 : 2,134 億円 (2025 年度連結)
事業内容 : 半導体や電子部品、システム機器などの国内外の先端エレクトロニクス製品を販売する商社。
東京証券取引所プライム市場に上場。(コード : 7537)
U R L : www.marubun.co.jp/

NUWA ロボティクス社製品に関するお問い合わせ先
丸文株式会社 ディオネカンパニー 担当 : 西井
TEL : 03-3639-9650 FAX : 03-5643-0354
E-mail : dione_mkt@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
丸文株式会社 経営企画部 担当 : 酒井・熊谷
TEL : 03-3639-3010 FAX : 03-5644-7693
E-mail: koho@marubun.co.jp